

ロシアのウクライナ侵攻が長期化する中、鳥取県北栄町に住むウクライナ出身のピロゴバ・マリナーさん(38)が13日、浜坂高(新温泉町芦屋)で講演した。全校生徒185人を前に、今なお戦禍を被っている母国への思いや平和の大切さを切々と訴えた。

講演でマリナーさんは、ロシアによる攻撃で甚大な被害を受けたウクライナ国内の惨状を動画や写真を使って説明。「一方的な侵略で私たちの生活は一変し、多くの人が家族や友人を失った。国を離れた人もいるが、誰もが離れるチャンスを持って

ウクライナ出身マリナーさん、浜坂高で講演

平和の大切さ切々と

いる訳ではない」とし、戦時下に生きる母国の人々を案じた。

その上で、争いを避けるためには「(相手への)憎しみを育むのではなく、他人のことをよく知り、理解する必要がある」と強調し、戦争のない平和な世界の実現を呼びかけた。

2年の西沢強秀さん(17)は「(パレスチナ自治区の)ガザでも戦争が起きており、戦争を身近に感じてきている。困っている人を助けられる人になりたい」と話していた。

講演は人権の大切さについて考えてもらおうと、同校PTAが主催した。(井上雅大)



戦争のない平和な世界の実現を訴えるマリナーさん＝13日、新温泉町芦屋の浜坂高